

TASHIRO NEWS LETTER 109

発行 田代稚恵美ピアノ教室

今年は記録的な炎暑になりましたが、みなさま、如何お過ごしでしたでしょうか？熱中症で倒れた子達もおり心配しましたが、発熱、頭痛、嘔吐と症状が出たものの、大事には至らずホッとしました。しかし、命に関わることで、本当に注意して欲しいと心から願いました。

今年の第42回ピティナピアノコンペティションは45,755組の参加者だったそうです。当教室からは川口心愛さん（年長）がA2級（就学前の部）、大賀智水さん（小1）がA1級（小2までの部）、沼田若菜さん（小4）がB級（小4までの部）、有永音羽さん（小5）がC級（小6までの部）、北川愛梨さん（中1）がD級（中2までの部）、5名が参加しました。松戸の村木裕子先生の教室から8名が参加し、6名が予選通過しました。この子たちとホールレッスン出来たことも大きな収穫を生みました。また、ちば音楽コンクールには坂本百合彩さん（小4）が参加しました。

入賞者記念コンサート
出演
川口 心愛（A2級）

全国決勝大会
銅賞
沼田 若菜（B級）

全国決勝大会
入選
有永 音羽（C級）

第42回ピティナピアノ コンペティション 2018

コンペティションのステージで演奏することは「自分自身との闘い」だと感じております。コンペという性格を考えると、人との闘いの感は否めませんが、その緊張の場で自分自身が今まで創り上げてきた音楽をどこまで表現できるか、これは正に「自分自身との闘い」なのです。

コンペに参加した子供達の中には、ステージでの演奏の前夜、緊張で急に大泣きしたりしたこともあったそうですが、この経験がこの子たちに人生を乗り切る大きな力となると確信しております。

特級聴衆賞

- 右から2番目 特級グランプリ 角野隼斗さん
- 右から3番目 聴衆賞第1位 古海行子さん
- 右から4番目 プレゼンター 田代

ホールレッスン 5/20

表彰式

沼田若菜、有永音羽



祝賀会 8/22

ホテルニューオータニ

表彰式

有永ママ、音羽、若菜、田代、沼田ママ

B級上位入賞者表彰

右から3番目 沼田若菜

本選

本選2位

沼田 若菜 (8/6 東日本4本選 B級)

川口 心愛 (8/9 東日本茨城本選 A2級)

有永 音羽 (8/9 東日本千葉2本選 C級)

本選優秀賞

有永 音羽 (8/7 東日本埼玉1本選 C級)

本選奨励賞

大賀 智水 (7/23 東日本1本選 A1級)

北川 愛梨 (8/6 東日本4本選 D級)

北川 愛梨 (8/8 東日本茨城本選 D級)

予選

予選優秀賞 (全員予選通過)

大賀 智水 (6/16 三鷹)

川口 心愛 (7/1 龍ヶ崎)

沼田 若菜 (7/1 龍ヶ崎)

有永 音羽 (7/1 越谷)

川口 心愛 (7/8 さいたま中央)

有永 音羽 (7/8 成田後期)

(成田支部賞)

北川 愛梨 (7/14 つくば)

沼田 若菜 (7/15 新百合ヶ丘)

北川 愛梨 (7/21 巣鴨3)

リハーサル

沼田 若菜 (6/2 鎌ヶ谷前期)

北川 愛梨 (6/2 鎌ヶ谷前期)

大賀 智水 (6/3 浦和)

有永 音羽 (6/3 浦和)

川口 心愛 (6/10 柏前期)

大賀 智水 (6/10 千歳烏山)

北川 愛梨 (7/1 龍ヶ崎)

大賀 智水 (7/21 船橋4)

有永 音羽 (7/21 船橋4)

川口 心愛 (7/23 柏後期)

有永 音羽 (7/23 千葉4)

大賀 智水 (7/24 柏後期)

沼田 若菜 (7/25 鎌ヶ谷後期)

北川 愛梨 (7/25 鎌ヶ谷後期)



川口心愛ちゃん

川口心愛ちゃん（年長）は初参加。今までの2回の発表会の曲の磨き上げのときから、いいものを持っていると確信していました。左手の伴奏の柔らかさ、右手のメロディとのバランスなど、小さいのに感覚的に飲み込もうとする力があると感じました。しかし、コンペとなると目指すものがもう一段高くなります。心愛ちゃんと楽しくレッスンをしたいのは山々ですが、やるべきことを伝え、もっと質の高い演奏に持っていかねばなりません。本選前にその進歩が一旦ストップしてしまい、心愛ちゃんの年齢を考えて、「ま、楽しく弾いてこよう！」と田代自身もエキサイトし過ぎないようにと思おう

としては、勿体無いと歯ざりするような日が続きました。それが、ある日、「いいかも。。」散々不安定を嘆いていたテンポ感が安定して、大きく歌うような演奏が出来るようになりました。1回目の本選は弾き直してアウト。。2回目で本選第2位！入賞者記念コンサート出演おめでとう！たくさん勉強しましたね♡

大賀 智水ちゃん（小1）も3回目の参加。発表会で、この2年のコンペで培ったものがしっかり身に付いていると感じていましたが、今年はなんとなくコンペを受けるとは言わないだろうと思っており、ところが「智水がコンペを受けたいと言っています。」。コンペの辛さも大変さもわかっての挑戦宣言。とても嬉しく思いました。智ちゃんは私立小学校に入学して帰宅時間も遅くなった中でのレッスンや練習、そしてお母様は小さな弟くん2人（それも一人は昨年生まれたばかり）を抱えながら、智ちゃんは疲れてレッスンに集中出来ないこともありましたが、昨年までと違い、音に色々な表情を込めることができるようになってきました。しかし、まさかの予選申込の手違いから、早い予選、本選地区になってしまいました。私も慌ててしまいましたが、何より本人がよく頑張って、本選奨励賞、おめでとう！暑い中、小さな弟くんを抱っこ紐で抱えながら頑張ったお母様にも、有難うございました！



大賀智水ちゃん

沼田若菜ちゃん（小4）4回目のコンペ。お母様が仕事を変えて、今までのように若菜ちゃんの練習に付き合えなくなったので、追加レッスンを沢山入れて下さいました。若菜ちゃんとマンツーマンでのレッスンは初めは要領を得ないことも多く、私の質問に対しての返事が来るまでに40分という時間を要したり、同じ注意をなん度も繰り返すことも多く、「やる気がないのなら帰れ！」と叱り飛ばされたことも一度や二度ではありません。しかし、徐々に、自分自身がレッスンでの注意を理解して、変えていかなくてはいけないんだという自覚が芽生えて行きました。まだ、他のコンペ組の調子が出ていない時に本選2位で一番に全国決勝への切符を手にしてくれたこと、電話の向こうのママと一緒に泣きました。コンペ期間中に、今回は3度のホールレッスンを行いましたが、そこで若菜ちゃんの荒削りな部分に磨きをかけられたこと、これが今回の結果につながったと思います。私が長い期間で若菜ちゃんの奏法に慣れてしまっている部分があることを感じ、ホールで他のママたちの感想もお聞きして、再度、私も初心に戻り、若菜ちゃんの曲を作りなおしました。私が最も苦手とする「絵」も楽譜に描いて（笑われましたが；苦笑）若菜ちゃんにイメージをしっかりと植え込みました。二日前に行われた音羽ちゃんの全国決勝大会を応援に来てからは、若菜ちゃんは緊張もマックスだったようです。当日は「負けてはいけないのは自分自身！」と声をかけて送り出しました。ママにはポニーテールはやめてとお願いしてあったので（優雅に見えるように；笑）、髪を編み込んで下さいました。全国でステージで、堂々と鍵盤を拭き



沼田若菜ちゃん

生き生きと脈打つ音楽を奏ではじめた若菜ちゃんには感動！全国決勝大会 銅賞 本当におめでとう！！

有永音羽ちゃん（小5）は6回目の参加。昨年はB級銀賞を頂いています。それが、今回はC級の難しい課題曲ばかり選んだこともあって、本当に、調子が出ない日々が続きました。「今回は場慣れのためだけ？」と尋ねたことも多々（苦笑）。音羽ちゃんは精神的に傷つきやすい面を持っているので、



有永音羽ちゃん

昨年はレッスンの時にかける言葉も選んでいたのですが、そんなことをしては音羽ちゃんの為にはならないと、昨年のコンペが終わってからは、はっきりと出来ていないところを伝えるようにしました。今回も、かなり厳しい言葉をかけておりましたので、付いてこれるかなと内心心配もしたのですが、この子には諦めない心、粘りの強さという武器もあります。1つ目の本選で優秀賞。中1日あけて2回目の本選までに、本気で曲を作り直し、本選2位で全国を決めたときには、これもまた、私は歓声を上げるとともに大泣きました。全国の直前のホールレッスンでも相当に練り直し、私自身はもう満足しておりましたが、「まだまだやれることが見つかりました。」とママ。その意欲に引っ張られるようにして、私も勉強し直しました。全国でステージでは緊張感が客席に伝わる演奏。音ちゃんの心の揺れがよく分かりましたが、その中、心を込めて演奏ができました。全国決勝大会入選、おめでとう！



北川愛梨ちゃん

北川愛梨ちゃん(中1)4回目の参加。中学生になって勉強も部活もある中での挑戦です。それも、D級!中学生になると練習時間の確保がまずは大きな課題です。そして、コンペの課題曲のレベルもグリーンと上がりますし、それぞれの曲が長くなります。さて、どういうことになるのか。。。と心配した通りに、はじめの頃は長い曲を昨年よりは確実に減った練習時間でどうやってこなしていくのか、愛梨ちゃんの中で大きな焦りを感じました。気持ちが先走るので練習の質が悪くなる→レッスンでは細かいところを指摘され、数小節も先に進めない状態→益々焦る。というような悪循環が続きました。ところが、彼女は本番で「化ける」ことがあるのです。いい意味の鈍感力とでもいうのでしょうか。いいホールであればあるほど、ピアノがいい響きを出せば出すほど、うまく乗って演奏できる子なのです。私が曲の最後まで見ることなくステップやりハーサル(昨年までの「検定」)に送り出すことになってしまいましたが、堂々と演奏をして高評価を頂いて来ました。これには唖然とするばかりでしたが、本選ではそうはいきません。ホールレッスンで他のママから出た感想「愛梨ちゃんのソナタは何拍子?」→(拍子感がピンボケしている。)[「同じようなフレーズが何度もあって大変そう」→(フレーズごとの歌い方の工夫が足りない。)]様々な分析をしながら、細かいところの磨き直しをさらに進めました。本選奨励賞、おめでとう!

コンクールを振り返って

指導者賞
(15回目)
田代稚恵美

コンペティション参加に於いては、練習時間の確保、本人及び家族のテンションの維持、家族の協力、指導者である田代との信頼関係など欠かせません。それで、コンペ参加に関しては、必ず、教室の説明会に参加して、その覚悟を決めて頂くことからスタートしております。一人のお子さんをコンペで通じるまでの力を身につけさせるのは、教師も体力気力共に充実させて臨みます。今年は、その関係が築けず、初めの時点での脱落者が一人出たことを残念に思い

ました。うちの教室はお陰様でママさん同士の結束力も強いですが、「仲間」という関係は時をかけながら築いていけるものです。川口さんはコンペ初挑戦でしたが他のコンペ組のママに「初めてですので色々教えて下さい。」と頭を下げていました。そして一夏を掛けて立派な「仲間」になりました。寄り添う気持ち、謙虚に教えを請う姿勢、それもコンペに欠かせない力だと思いました。課題曲が発表されてから全国決勝大会までには半年。その間のそれぞれの子供達との悪戦苦闘に私自身も円形脱毛症になりました(苦笑)が、子供達は技術的のみならず、精神力、人間力ともいうべき力を身につけ、大きな成長を遂げました。下記の写真は川口心愛ちゃんの入賞者記念コンサート、有永音羽、沼田若菜ちゃんの全国決勝大会を応援に来てくださった方々です。石井那月、夏月、北川愛梨、川口夢月、片山紬、沼田遥菜、佐々木優香、坂本百合彩ちゃんとママ達、稲垣ママ、上田萌莉ママ、村木先生そして、仲間の応援に駆けつけた川口心愛、沼田若菜、有永音羽ちゃん、有難うございました!暑い夏、熱い闘い、その中での楽しいひと時でした。みなさまの温かさは私の救い、宝です。

A2級入賞者記念
コンサート応援団C級全国決勝大会
応援団B級全国決勝大会
応援団

8月22日(水)ホテルニューオータニに於けるピティナピアノコンペティション表彰式で特級聴衆賞のプレゼンターを務めさせて頂きました。私にこの大役が巡って来たのは、コンペに参加した子ども達、ママ達が、毎年、コンペの総仕上げに、コンペの最難関の特級のファイナルを聴きに行ったことが認められたのがきっかけです。毎年のファイナルのピアノコンツェルトをコンペの楽しみとして、仲間達と聴き、聴衆賞の投票をしてきました。お陰様で、間近にピアニストの息遣いを聴き、全身を使っての演奏を見て子供達の中に育ったものが沢山あります。みなさん、来年は是非ご一緒に!

ちば音楽コンクール他

坂本百合彩ちゃん(小4)はちば音楽コンクールに参加しました。今年から今までと課題曲などの内容が変わり、やっと慣れたところで却ってわかりにくい事や要領を得ないところがありました。百合彩ちゃんは7月27日の第一次予選を見事合格。残念ながら本選には進めませんでしたが、第2次予選でもいい演奏が出来たようでした。

また、早崎里音ちゃん(小2)は以前の教室に在籍しているときにジュニアクラシック音楽コンクールに参加して5位の成績をおさめており、7月末に表彰式を兼ねた演奏会に参加して演奏をしてきました。



坂本百合彩ちゃん



早崎里音ちゃん

ステップ合格 おめでとう！！

流山ステップ 6/24

高津心乃美 (導入1)	村岡 弦音 (導入1)	長清 駿 (導入3)	桜井 優凧 (導入3)
村岡 詩月 (導入3)	長谷川巧実 (導入3)	鈴木 琴子 (基礎1)	石井 那月 (基礎1)
押田 匠真 (基礎2)	京藤希恵瑠 (基礎2)	長谷川朋洋 (基礎3)	松永 啓佑 (基礎4)
鈴木日向子 (基礎4)	佐々木優香 (基礎5)	増田 結 (応用1)	早崎 里音 (応用2)
石井 夏月 (応用2)	大村 響 (応用3)	川口 夢月 (応用4)	上田 結鈴 (応用4)
服部 葵 (応用5)	阿部麻菜美 (発展1)	川口 心愛 (フリー3)	大賀 智水 (フリー3)
稲垣 光希 (フリー5)	稲垣 朱音 (フリー5)	大村 葉 (フリー7)	沼田 若菜 (フリー7)
小松菜津美 (フリー7)	坂本百合彩 (フリー10)	有永 音羽 (フリー10)	沼田 遥菜 (フリー10)
石井 美有 (フリー10)	上田 萌莉 (フリー10)	北川 愛梨 (フリー12)	

表参道ステップ 7/27

有永 音羽 (フリー5)



継続表彰

おめでとう！

継続10回表彰

大村 響

継続20回表彰

沼田 若菜

継続30回表彰

北川 愛梨

継続15回表彰

大賀 智水

継続25回表彰

上田 萌莉

継続35回表彰

有永 音羽

上田 結鈴

阿部麻菜美

敬称略

流山地区ステップ

6月24日(日)に流山市生涯学習センター多目的ホールにてピアノ流山地区ステップが開催されました。教室からは、初参加の高津心乃美、長清駿、長谷川巧実、押田匠真さんを含む35名が参加しました。高津心乃美ちゃんは初参加で第1部1番の演奏。記念に残るトップバッター。その他の初参加組もどうなることかと心配をしておりましたが、立派に演奏をしました。ステップは、教室の子供達だけの演奏の場である発表会とはまた違い、他の教室の子たちの演奏を聴くことが出来ることもいい刺激になりました。特筆すべきは、教室の子供たちのステージマナーの良さ、ママたちのペダルセッティングの堂々とした動きだと思います。流山ステップでアドバイザーをして下さった本多昌子先生より「流山ステップは演奏のレベルも高く、また聴いている方たちの拍手も熱い。演奏者も聴衆も育てているステップでした。」というお言葉を頂きました。本当に嬉しいお言葉でした！

大嶺未来先生のトークコンサートはこの先生の今までの努力、音楽に対する畏敬の念、そのお人柄全てを物語るような演奏でした。ピアノから紡ぎ出される様々な音色、醸し出される香り、集中力、聴衆への謙虚な眼差し、どれを取っても一流の音楽家だと感動致しました。会場にはたくさんのおお客様。ステップ参加者は勿論のこと、参加していない教室の子供たちやご家族まで駆けつけて頂き有難うございました。また、目下、受験体制のため休会中の新田彩桜ちゃんが一日中ホールで聴いている姿を嬉しく思いました。

編集後記

流山ステップ前夜には右写真の方々が駆けつけて下さいました。

(有永ママ、石井美有ママ、上田萌莉ちゃんとママ、川口心愛ママ、北川愛梨ママ、桜井優凧ママ、佐々木優香ママ、坂本百合彩ママ、新田彩桜ちゃん、沼田若菜ママ)

また、主人が腰を痛めているとお伝えしたもので、ステップが終わっての車への荷物の運び込みのみならず、田代宅へ先回りして、教室までの荷物の運び込みをして下さった有永ママ、北川ママには感動しました！

さて、私事ですが、7月7日に母が亡くなりました。その折には、みなさまから温かいお言葉、お心遣いを頂戴しまして有難うございました。遠く離れて暮らしておりますと、こういう事になると覚悟はしていたつもりでしたが、頭が真っ白になりました。



みなさまのお気持ちが身に染みて嬉しかったです。お陰様で暑い最中、600名を超える方々にお参りして頂き、立派な葬儀になりました。発表会に一度来たいと常々言っていた母でしたが、

